



2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月13日

上場会社名 株式会社 ウェッズ
 コード番号 7551 URL <http://www.weds.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲妻 範彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 上村 定芳

TEL 03-5753-8201

定時株主総会開催予定日 2019年6月26日

配当支払開始予定日

2019年6月27日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	32,533	13.0	1,699	2.5	1,866	0.6	335	75.6
2018年3月期	28,780	6.4	1,742	22.9	1,854	17.9	1,376	27.6

(注) 包括利益 2019年3月期 849百万円 (29.0%) 2018年3月期 1,095百万円 (11.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	20.92		2.8	9.6	5.2
2018年3月期	85.85		11.7	10.2	6.1

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 64百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	19,125	13,565	64.2	765.60
2018年3月期	19,759	13,231	60.9	750.02

(参考) 自己資本 2019年3月期 12,278百万円 2018年3月期 12,028百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,510	481	1,124	2,201
2018年3月期	1,150	78	835	2,298

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		10.00		20.00	30.00	481	34.9	4.1
2019年3月期		10.00		18.00	28.00	449	133.8	3.7
2020年3月期(予想)		10.00		15.00	25.00			

2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当16円00銭 特別配当 4円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,200	0.6	380	8.0	460	6.1	260	10.2	16.21
通期	32,600	0.2	1,760	3.6	1,930	3.4	1,130	236.8	70.46

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	16,118,166 株	2018年3月期	16,118,166 株
期末自己株式数	2019年3月期	80,001 株	2018年3月期	80,000 株
期中平均株式数	2019年3月期	16,038,166 株	2018年3月期	16,038,166 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	24,140	0.5	1,282	20.2	1,417	15.4	957	15.1
2018年3月期	24,026	2.3	1,606	19.3	1,675	14.7	1,127	13.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	59.67	
2018年3月期	70.29	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2019年3月期	14,838		11,836		79.8		738.01	
2018年3月期	14,363		10,974		76.4		684.25	

(参考) 自己資本 2019年3月期 11,836百万円 2018年3月期 10,974百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	9,400	0.3	410	0.6	290	1.1	18.08	
通期	24,200	0.2	1,420	0.2	960	0.3	59.86	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	17
4. その他	17
役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用環境の改善、個人消費の持ち直しや設備投資の増加など、景気は穏やかに回復しております。一方、世界経済につきましては、引き続き米国経済は好調に推移しているものの米中の貿易摩擦問題の長期化や英国のEU離脱問題等も存在しており先行き不透明な状況が依然続いております。

このような環境のなか、当連結会計年度の売上高は、前第4四半期から子会社となった㈱ロジックスによる物流セグメントの追加等により32,533百万円(前期比13.0%増)と増収になりました。また、営業利益は売上と同様に㈱ロジックスによる増益効果はあったものの、主力のアルミホイールにおいては、顧客の商流変更、高付加価値商品の低迷により1,699百万円(前期比2.5%減)と減益になりました。経常利益は1,866百万円(前期比0.6%増)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきまして赤字が続く福祉事業において固定資産の減損損失1,033百万円を計上したことにより、335百万円(前期比75.6%減)と大幅な減益となりました。

(セグメント別の概況)

(単位:百万円)

		自動車関連卸売事業	物流事業	自動車関連小売事業	福祉事業	その他	調整額	連結
売上高	当連結会計年度	24,485	6,089	1,891	409	1,251	△1,593	32,533
	前連結会計年度	24,424	1,431	1,803	442	1,097	△419	28,780
セグメント利益又は損失(△)	当連結会計年度	1,291	358	37	△43	55	△0	1,699
	前連結会計年度	1,608	52	35	△26	73	△0	1,742

①自動車関連卸売事業

自動車関連卸売事業の売上高は、24,485百万円となり前期比60百万円(0.2%)の増収となりました。これは、主力のアルミホイールは減少したものの、用品等の売上が増加したことによります。一方、セグメント利益につきましては、アルミホイールにおいては、低価格指向による高付加価値ホイールの減少、顧客の商流変更による数量減、競争激化による売価停滞また運賃等の経費増加も影響し1,291百万円となり前期比316百万円(△19.7%)の減益となりました。

②物流事業

前第4四半期より連結子会社となった㈱ロジックスの営む物流事業の第4四半期期間の売上高は、6,089百万円となり、セグメント利益は358百万円と堅調に推移しました。

③自動車関連小売事業

自動車関連小売事業の売上高は、集客効果あるいは通販業者への売上増により、1,891百万円となり前期比87百万円(4.9%)の増収となりました。また、セグメント利益につきましても売上増加により、37百万円となり前期比2百万円(8.2%)の増益となりました。

④福祉事業

福祉事業の売上高は、介護職員不足による受け入れ体制不足により入居者が減少し、409百万円と前期比32百万円(△7.4%)の減収となりました。セグメント損失は、売上の減少により43百万円となり前期比17百万円の損失の増加となりました。

⑤その他

携帯電話代理店事業の売上高につきましては、2018年4月より新規オープンした酒田みずほ店により、1,164百万円となり前期比152百万円(15.0%)の増収、賃貸事業の売上高は、87百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて1,251百万円となり前期比153百万円(14.0%)の増収となりました。セグメント利益は、携帯電話代理店事業においては新規店による初期費用により、2百万円と前期比17百万円(△86.0%)の減益となりました。賃貸事業は52百万円で前年とほぼ同額となり、合わせて55百万円と前期比17百万円(△23.8%)の減益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度における総資産額は19,125百万円となり、前期末に比べて633百万円減少しました。主たる要因は、建物及び構築物等の減損損失計上による減額によるものです。

(負債)

負債総額は5,560百万円であり、前期比967百万円の減少となりました。主たる要因は借入金、デリバティブ債務、支払手形及び買掛金等の減少によるものです。

(純資産)

純資産は13,565百万円となり、前期比333百万円の増加となりました。主たる要因は繰延ヘッジ損益の増加によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前期末に比べて97百万円減少し2,201百万円となりました。

なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整当期純利益、減価償却費、減損損失の計上とたな卸資産の増加等による減少等を差し引いて、営業活動によるキャッシュ・フローは1,510百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は481百万円になりました。これは主に有形固定資産取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は1,124百万円になりました。これは主に借入金の減少と配当金の支払いによるものです。

(参考) キャッシュ・フローの指標推移

決算年月	2017年3月	2018年3月	2019年3月
自己資本比率(%)	69.1	60.9	64.2
時価ベースの自己資本比率(%)	63.1	66.2	51.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.6	1.0	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	171.6	234.6	260.71

※ 各指標は、連結ベースの次の財務数値に基づいて算出しております。

- ・自己資本比率：自己資本／総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている借入金を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

次期連結会計年度のわが国経済は、引き続き緩やかな改善が期待され、また世界経済においては、堅調な米国経済は期待できるものの米国の保護主義的な通商政策により長期化する貿易摩擦、欧州では英国のEU離脱問題が未だに存在しており、不透明な状況は続くものと考えます。このような環境の中、当社グループは自動車関連卸売事業においては魅力ある商品開発、お客様との関係強化・重要取組商品を絞っての販売強化により、物流事業は、業務拡大により、自動車関連小売事業は、更なる収益改善により、福祉事業では従来の運営方法を見直し、人員配置の適切化と外部の事業所の活用により安定した体制を確保することで、サービスの向上と施設の稼働率を上げて収益改善に取り組んでまいります。

このような状況下、当社グループは次期の見通しにつきまして、売上高32,600百万円(前期比0.2%増)営業利益1,760百万円(前期比3.6%増)、経常利益1,930百万円(前期比3.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,130百万円(前期比236.8%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際会計基準の動向について外部機関が主催するセミナーに参加するなど情報収集を行うとともに、実施に向けて様々な検討を進めていますが、適用時期は未定です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,588,941	2,491,373
受取手形及び売掛金	4,048,925	3,996,347
電子記録債権	224,030	194,653
商品	2,892,181	3,263,518
仕掛品	237,751	206,123
原材料及び貯蔵品	59,969	54,237
前渡金	547,553	420,701
デリバティブ債権	—	449,155
その他	365,108	267,318
貸倒引当金	△1,632	△1,760
流動資産合計	10,962,828	11,341,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,625,056	5,795,543
減価償却累計額	△3,627,586	△3,838,956
建物及び構築物 (純額)	2,997,470	1,956,586
土地	3,169,738	3,694,360
その他	1,643,413	1,653,569
減価償却累計額	△1,268,994	△1,302,333
その他 (純額)	374,419	351,236
建設仮勘定	350,453	4,351
有形固定資産合計	6,892,082	6,006,535
無形固定資産		
のれん	158,728	140,384
その他	81,564	86,949
無形固定資産合計	240,292	227,333
投資その他の資産		
投資有価証券	492,722	374,494
繰延税金資産	265,401	400,762
退職給付に係る資産	82,609	73,071
その他	828,383	708,670
貸倒引当金	△4,910	△7,053
投資その他の資産合計	1,664,207	1,549,945
固定資産合計	8,796,582	7,783,814
資産合計	19,759,411	19,125,483

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,479,599	2,369,800
短期借入金	1,026,476	483,988
未払法人税等	480,559	495,251
携帯電話短期解約返戻引当金	320	539
賞与引当金	200,556	216,653
役員賞与引当金	46,050	38,800
修繕引当金	—	54,000
デリバティブ債務	239,697	—
その他	963,884	855,353
流動負債合計	5,437,143	4,514,387
固定負債		
長期借入金	80,044	20,056
繰延税金負債	21,278	22,243
修繕引当金	94,000	52,000
退職給付に係る負債	164,810	184,270
役員退職慰労引当金	185,514	210,105
資産除去債務	192,607	195,232
その他	352,456	361,741
固定負債合計	1,090,711	1,045,649
負債合計	6,527,855	5,560,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	852,750	852,750
資本剰余金	745,979	759,295
利益剰余金	10,395,328	10,249,736
自己株式	△47,760	△47,760
株主資本合計	11,946,298	11,814,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,528	125,918
繰延ヘッジ損益	△165,698	311,616
為替換算調整勘定	29,738	27,256
その他の包括利益累計額合計	82,567	464,790
非支配株主持分	1,202,690	1,286,635
純資産合計	13,231,556	13,565,446
負債純資産合計	19,759,411	19,125,483

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	28,780,132	32,533,078
売上原価	22,253,834	26,171,375
売上総利益	6,526,297	6,361,702
販売費及び一般管理費	4,783,636	4,662,177
営業利益	1,742,660	1,699,525
営業外収益		
受取利息	1,015	450
受取配当金	11,204	15,407
製品保証引当金戻入額	22,629	—
持分法による投資利益	64,002	—
為替差益	—	30,363
保険解約返戻金	—	73,680
店舗出店等支援金収入	1,934	22,963
その他	19,002	40,454
営業外収益合計	119,789	183,319
営業外費用		
支払利息	4,911	5,794
為替差損	1,605	—
その他	1,328	10,459
営業外費用合計	7,845	16,254
経常利益	1,854,604	1,866,589
特別利益		
負ののれん発生益	398,910	—
特別利益合計	398,910	—
特別損失		
段階取得に係る差損	239,330	—
減損損失	—	1,033,300
特別損失合計	239,330	1,033,300
税金等調整前当期純利益	2,014,184	833,289
法人税、住民税及び事業税	607,789	670,514
法人税等調整額	8,941	△304,806
法人税等合計	616,730	365,708
当期純利益	1,397,453	467,581
非支配株主に帰属する当期純利益	20,636	132,028
親会社株主に帰属する当期純利益	1,376,816	335,552

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,397,453	467,581
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47,952	△92,701
繰延ヘッジ損益	△350,801	477,315
為替換算調整勘定	1,362	△2,481
その他の包括利益合計	△301,486	382,131
包括利益	1,095,967	849,712
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,074,902	717,775
非支配株主に係る包括利益	21,064	131,937

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	852,750	802,090	9,435,504	△47,760	11,042,584
当期変動額					
剰余金の配当			△416,992		△416,992
連結子会社株式の取得による持分の増減		△56,110			△56,110
親会社株主に帰属する当期純利益			1,376,816		1,376,816
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△56,110	959,824	—	903,713
当期末残高	852,750	745,979	10,395,328	△47,760	11,946,298

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	169,136	185,102	28,376	382,614	148,237	11,573,436
当期変動額						
剰余金の配当						△416,992
連結子会社株式の取得による持分の増減						△56,110
親会社株主に帰属する当期純利益						1,376,816
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	49,392	△350,801	1,362	△300,046	1,054,453	754,406
当期変動額合計	49,392	△350,801	1,362	△300,046	1,054,453	1,658,120
当期末残高	218,528	△165,698	29,738	82,567	1,202,690	13,231,556

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	852,750	745,979	10,395,328	△47,760	11,946,298
当期変動額					
剰余金の配当			△481,144		△481,144
連結子会社株式の取得による持分の増減		13,315			13,315
親会社株主に帰属する当期純利益			335,552		335,552
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		13,315	△145,592	△0	△132,277
当期末残高	852,750	759,295	10,249,736	△47,760	11,814,020

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	218,528	△165,698	29,738	82,567	1,202,690	13,231,556
当期変動額						
剰余金の配当						△481,144
連結子会社株式の取得による持分の増減						13,315
親会社株主に帰属する当期純利益						335,552
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△92,610	477,315	△2,481	382,223	83,944	466,167
当期変動額合計	△92,610	477,315	△2,481	382,223	83,944	333,890
当期末残高	125,918	311,616	27,256	464,790	1,286,635	13,565,446

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,014,184	833,289
減価償却費	233,322	361,348
減損損失	-	1,033,300
のれん償却額	19,743	18,343
保険解約返戻金	-	△73,680
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,510	19,459
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	16,305	24,591
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,261	2,270
修繕引当金の増減額 (△は減少)	12,000	12,000
携帯電話短期解約返礼引当金の増減額 (△は減少)	△73	219
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,708	16,097
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,295	△7,250
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△44,607	-
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	8,795	9,538
持分法による投資損益 (△は益)	△64,002	-
負ののれん発生益	△398,910	-
段階取得に係る差損益 (△は益)	239,330	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△230,684	81,955
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△580,752	△333,976
仕入債務の増減額 (△は減少)	22,904	△109,798
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	389,592	48,577
前渡金の増減額 (△は増加)	298,316	126,851
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△135,439	△21,468
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△102,187	101,987
その他	△86,422	14,157
小計	1,633,666	2,157,815
利息及び配当金の受取額	28,706	14,994
利息の支払額	△4,901	△5,794
法人税等の支払額	△507,318	△656,261
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,150,152	1,510,753
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99,071	△537,154
有形固定資産の売却による収入	4,070	358
無形固定資産の取得による支出	△34,610	△23,049
投資有価証券の取得による支出	△598	△15,153
投資有価証券の売却による収入	-	-
保険積立金の積立による支出	△26,320	△30,334
保険積立金の解約による収入	-	175,375
定期預金の預入による支出	△220,000	△340,000
定期預金の払戻による収入	220,000	340,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	76,931	-
その他の支出	△7,167	△87,123
その他の収入	8,317	35,904
投資活動によるキャッシュ・フロー	△78,448	△481,177

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△176,500	△531,500
長期借入金の返済による支出	△51,074	△70,976
自己株式の取得による支出	-	△0
配当金の支払額	△417,285	△481,015
リース債務の返済による支出	△23,704	△57,042
セール・アンド・リースバックによる収入	36,700	50,550
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△203,997	△5,276
非支配株主への配当金の支払額	-	△29,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△835,861	△1,124,662
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,362	△2,481
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	237,203	△97,567
現金及び現金同等物の期首残高	2,061,737	2,298,941
現金及び現金同等物の期末残高	2,298,941	2,201,373

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車関連の卸売事業（含む高級3ピースアルミホイールの製造販売事業）を主たる事業とし、他に物流事業、自動車用品の小売事業、高齢者向けの複合福祉事業等を営んでおります。

したがって、当社の事業区分は、当社の内部管理上採用している区分をベースに、製品の種類・性質、販売市場の類似性を考慮し、「自動車関連卸売事業」、「物流事業」、「自動車関連小売事業」、「福祉事業」の4つを報告セグメントとしております。

「自動車関連卸売事業」は一般市販市場へのホイールを中心とした自動車関連商品の製造及び販売、「物流事業」は主に商品保管の荷役等の物流サービスの提供、「自動車関連小売事業」は一般消費者へのホイールを中心とした自動車関連商品の販売、「福祉事業」は高齢者向けの複合福祉サービスの提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場価格、販売量を勘案し、一般取引条件を参考に決定しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	24,286,194	1,154,885	1,799,018	442,128	27,682,226	1,097,905	28,780,132	—	28,780,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	137,989	276,596	4,818	—	419,405	—	419,405	(419,405)	—
計	24,424,184	1,431,482	1,803,837	442,128	28,101,631	1,097,905	29,199,537	(419,405)	28,780,132
セグメント利益又は損失(△)	1,608,532	52,421	35,064	△26,010	1,670,007	73,185	1,743,192	(531)	1,742,660
セグメント資産	13,016,498	3,977,283	980,489	1,947,393	19,921,665	1,152,287	21,073,952	(1,314,540)	19,759,411
その他の項目									
減価償却費	94,347	39,578	19,798	71,137	224,861	8,460	233,322	—	233,322
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	148,898	12,693	6,441	954	168,987	41,213	210,200	—	210,200

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額531千円及びセグメント資産の調整額1,314,540千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	24,192,556	4,804,583	1,875,467	409,284	31,281,892	1,251,186	32,533,078	—	32,533,078
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	292,480	1,285,040	15,953	—	1,593,474	—	1,593,474	(1,593,474)	—
計	24,485,037	6,089,624	1,891,421	409,284	32,875,366	1,251,186	34,126,553	(1,593,474)	32,533,078
セグメント利 益又は損失 (△)	1,291,848	358,140	37,931	△43,803	1,644,117	55,771	1,699,889	(364)	1,699,525
セグメント資 産	13,430,062	4,210,677	976,553	821,120	19,438,413	1,230,953	20,669,366	(1,543,882)	19,125,483
その他の項目									
減価償却費	100,495	159,529	18,051	70,363	348,439	12,909	361,348	—	361,348
減損損失	—	—	—	1,033,300	1,033,300	—	1,033,300	—	1,033,300
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	95,464	392,287	1,390	2,609	491,752	54,565	546,318	—	546,318

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、携帯電話代理店事業、賃貸事業であります。
2. セグメント利益の調整額364千円及びセグメント資産の調整額1,543,882千円は、セグメント間取引消去であります。
3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	合計
外部顧客への売上高	24,286,194	1,154,885	1,799,018	442,128	1,097,905	28,780,132

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	合計
外部顧客への売上高	24,192,556	4,804,583	1,875,467	409,284	1,251,186	32,533,078

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

主要な顧客の区分の外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高で連結損益計算書の売上高10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位 千円)

	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	18,343	—	1,400	—	—	—	19,743
当期末残高	158,728	—	—	—	—	—	158,728

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位 千円)

	自動車関連 卸売事業	物流事業	自動車関連 小売事業	福祉事業	その他	全社・消去	合計
当期償却額	18,343	—	—	—	—	—	18,343
当期末残高	140,384	—	—	—	—	—	140,384

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

「物流事業」セグメントにおいて、当連結会計年度に持分法適用関連会社であった株式会社ロジックスの株式を追加取得し、連結子会社としたことに伴い、398,910千円の負ののれん発生益を計上しております。当該負ののれん発生益は報告セグメントには配分しておりません。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	750.02円	765.60円
1株当たり当期純利益	85.85円	20.92円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	13,231,556	13,565,446
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	1,202,690	1,286,635
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	12,028,865	12,278,811
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	16,038,166	16,038,165

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,376,816	335,552
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,376,816	335,522
普通株式の期中平均株式数(株)	16,038,166	16,038,166

4. その他

役員の変動

【代表者の異動】

該当事項はありません。

【その他の役員の変動】(2019年6月26日付)

- ・ 新任取締役候補
 常務取締役 中尾 宏平(現中央精機株 取締役執行役員)
 取締役 北爪 元哉(現中央精機株 取締役副社長)
- ・ 退任予定取締役
 取締役 中川 宏
 取締役 上村 定芳